

## 自然と未来

～オーストリアとブータンからの学び～



## イスラームの変革者 ～女性イマームの誕生～

### TUFS Cinema とは……

東京外国語大学TUFS Cinemaは、映画を通じ、世界の諸地域における社会・歴史・文化の理解を深めることを目的として行っています。

今回は「気候変動」と「ジェンダー」をテーマにした2本のドキュメンタリー作品の上映とトークを行い、SDGsについての理解を深めます。

本上映会はオンラインイベントWATCH2025: For a Sustainable Futureと連動したもので、上映作品の字幕翻訳やトークイベントの企画は学生が手がけています。

上映日時 2025年

# 7月6日【日】

2作品同時上映

13:00上映開始（開場12:40、終了予定16:50）  
2作品目のみ鑑賞希望の方の受付は14:40より開始いたします。

## 場所 東京外国語大学

アゴラ・グローバル プロメテウス・ホール  
（東京都府中市朝日町3-11-1、西武多摩川線「多磨」駅下車 徒歩5分）

◆『自然と未来 ～オーストリアとブータンからの学び～』  
本編上映(43分) 上映後トーク(45分)  
古川 高子(東京外国語大学)

休憩

15:00 上映開始

◆『イスラームの変革者 ～女性イマームの誕生～』  
本編上映(59分) 上映後トーク(45分)  
村山 木乃実(東京外国語大学)

入場無料  
事前登録は  
こちら



<https://sanda.tufs.ac.jp/event/tc250706form/>

※事前登録がなくてもご来場いただくことは可能ですが、事前にご登録いただくとスムーズにご入場いただけます。  
定員を超える場合は、事前登録を済ませた方を優先させていただきます。

[お問合せ]  
東京外国語大学 広報・社会連携課  
(TUFS Cinema担当)

TEL 042-330-5441  
平日9:00-17:00 (12:00-13:00は除く)

Email [tufscinema@tufs.ac.jp](mailto:tufscinema@tufs.ac.jp)

詳細は TUFS Cinema ウェブサイトにて  
<https://www.tufs.ac.jp/tufscinema/>



**WATCH 2025**  
For a Sustainable Future

共催 東京外国語大学TUFS Cinema  
日本映像翻訳アカデミー(JVTA) **JVTA**  
東京外国語大学 大学の世界展開力強化事業(米国等)  
一太平洋を『架橋』するブリッジ・パーソン養成プログラム(IP-Bridge) —  
協力 東京外国語大学多言語多文化共生センター

上映日

2025年7月6日(日) 13:00上映開始(12:40開場、16:50終了予定)

SDGs を考える映画特集 2作品同時上映



# 自然と未来

～オーストリアとブータンからの学び～

監督・脚本:ニルス・ベーカンブ

撮影:フェリクス・クライクスハイム、ミラン・トゥカーシク

編集:アンドレア・ペク

音楽:イリヤ・ケスター

製作:ヴィヴィアン・シュレーダー

出演:ニルス・ベーカンブ、ジュリア・キム、ティンレイ・ナムギエル

あらすじ

監督のニルス・ベーカンブがブータンとヨーロッパを旅しながら、気候変動と人間の暮らしの関係を見つめ直すドキュメンタリー。自然と調和したブータンの有機農業やGNH(国民総幸福量)の思想を通して、私たちの消費行動や価値観に問いを投げかける。

2020年/ドイツ/43分/ドイツ語・英語/日本語字幕

英題 DAY ZERO | Austria and Bhutan – A Glimpse Into the Future

本作について

本作は、「気候変動」という重いテーマを静かな語り口で問いかけてくる。監督のニルス・ベーカンブは、成長と消費を前提とする社会から距離を置き、自然との共生を実践するブータンを訪れることで、未来へのヒントを探る。

特に、GNH(国民総幸福量)という独自の指標を掲げるブータンの姿勢は、観る者に対して「豊かさ」とは何かを根本から問うてくるだろう。また映像表現も詩的かつ力強く、五感に訴えかけてくるものがある。

上映後解説

古川 高子 東京外国語大学  
世界言語社会教育センター 特任講師



会場

東京外国語大学 アゴラ・グローバル プロメテウス・ホール  
(東京都府中市朝日町3-11-1)

お問い合わせ

東京外国語大学 広報・社会連携課(TUFS Cinema担当)

TEL 042-330-5441 平日9:00~17:00 (12:00~13:00は除く)

Email tufscinema@tufs.ac.jp

Facebook @tufscinema.pr X(Twitter) @tufscinema

入場無料/事前登録制

<https://sanda.tufs.ac.jp/event/tc250706form/>



# イスラームの変革者

## ～女性イマームの誕生～

監督:マリー・スコウゴ

撮影:マリー・スコウゴ、スンヒ・エンゲルストフト

マティアス・ニューホルム・シュミット

編集:ピエル・アンドレス 音楽:フィリップ・ボワ=ヴィヴ

製作:ピエル・アンドレス

出演:シェリン・カーンカン、サリハ・マリー・フェッテ、ヒシャム・モーナ  
ファイズ・カーンカン

あらすじ

女性主導によるモスクの開設を目指すイマーム、シェリン。イスラーム教に対する誤った認識や恐怖が広がりつつある現実に際し、シェリンを中心とするモスクのメンバーは従来のジェンダー・ヒエラルキーからの脱却を推進する。そんな彼女の挑戦は支持を集める一方で、組織内の対立も表面化する。

2019年/デンマーク/59分/デンマーク語・スウェーデン語・アラビア語・英語/日本語字幕/英題 The Reformist – A Female Imam

本作について

本作の主人公シェリンは、フィンランド人の母とシリア人の父を持つ、型破りな女性イマーム(イスラームの宗教指導者)である。彼女の姿勢は、デンマークのキリスト教徒だけでなく、イスラーム教徒たちからも批判を受ける。

ドキュメンタリーの中心となる異教徒間の婚姻をめぐる、彼女とイスラーム教徒たちの間に生じる見解の対立は、本作の大きな見どころだ。

批判の矢面に立ちながらも、イスラーム教徒の女性たちやマイノリティの尊厳と権利を守ろうと奮闘する彼女の姿から、目が離せない一時間だ。

上映後解説

村山 木乃実 東京外国語大学 アジア・アフリカ  
言語文化研究所 特任研究員

交通アクセス



◆JR中央線「武蔵境」駅のりかえ 西武多摩川線「多磨」駅下車 徒歩5分(JR新宿駅から約40分)

◆京王電鉄「飛田給」駅北口より多磨駅行き京王バスにて約10分「東京外国語大学前」下車